

日本経済新聞

特報

ご購入・ご試読のお申し込み

☎0120-83-4946

<http://www.nikkei4946.com/tg/>

■ 試読紙は、原則毎月10日～20日の間の合計7日間お届けします。

■ 複数回の試読お申し込みは、お断りさせていただく場合があります。

電子版アドレス

<http://www.nikkei.com/>

月以外の天体で初

イトカワの微粒子確認

探査機「はやぶさ」が採取

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は16日、小惑星探査機「はやぶさ」のカプセルに、小惑星「イトカワ」の微粒子を確認したと発表した。約1500個見つかった10個(割合は100万分の1)以上の大の粒子のほほすべてが地球の物質と明らかに違うことが電子顕微鏡で判明。小惑星以外で混入したとは考えられず、イトカワ由来と断定した。人類が月以外の天

体に着陸して採取物質を地球に持ち帰るのは初めて。

はやぶさの地球帰還は、日本の技術力を世界に示した。小惑星の微粒子採取にも成功し、世界に先んじて太陽系の成り立ちの解明を急ぐなど基礎科学でも世界をリードできる。無人探査技術を強みに、日本が宇宙開発で存在感を増す好機になる。

地球や火星のような

大きな惑星は、小惑星などがくっついたり、離れたりして形づくられたとみられている。

地球では溶けて無くなってしまった物質も小惑星には残る。太陽系が生まれた当時の物質を残す「宇宙の化石」といえ、地球を含む太陽系の成り立ちを解明する大きな手がかりとなる。

👉 続く



イトカワに接近するはやぶさの想像図(JAXA、池下章裕氏提供)